

## 令和4年度資料委員会活動報告

### 1. 会議等の開催状況

#### (1) 資料委員会

- ・ 令和4年度事業計画・活動計画(案)についてメール審議(令和4年7～8月)
- ・ 活動報告についてメール審議(令和5年4月)

#### (2) オープンサイエンス小委員会・電子資料小委員会

- ・ オープンサイエンス小委員会 オンラインによる協議・意見交換(随時)
- ・ 電子資料小委員会 第1回(令和4年9月)

### 2. 令和4年度の活動内容について

#### (1) 資料委員会の活動

令和3年度に引き続き、資料委員会の統括の下に小委員会(オープンサイエンス小委員会及び電子資料小委員会)を構成し、各々の課題解決に向けた活動を行った。

#### (2) オープンサイエンス小委員会の活動

小委員会委員に加え6機関9名からなる若手職員のタスクフォースを組織し、各国立大学図書館が所属大学の研究データ管理・公開に実質的に貢献できるよう、関係各組織と定期的に情報共有を行いつつ以下の活動を進めた。

##### ① 研究データ管理・公開ポリシー策定の支援

- ・ 会員館の研究データ管理ポリシー策定等にかかる課題解決を促進するため、各館の状況等を調査・分析し、段階等に応じたワークショップ開催を予定している。アンケート調査では、会員館の83%である77機関から回答があり、回答館の13%がポリシー策定済、18%が策定中、42%が未着手だが予定あり、27%が未着手という結果であった。策定済10機関はすべて図書館が策定に関っており、他にも図書館が関わっている機関では策定状況が進んでいる傾向が見受けられた。
- ・ 11月28日に「研究データポリシー策定のためのワークショップ」を開催した。会員館から35名の参加があり、大阪大・広島大からポリシー策定事例の報告を行い、様々な機関規模、策定段階、職階の参加者全員で課題解決に向けた情報交換を行った。
- ・ 1月30日には、AXIES・JPCOARの「研究データ管理事例集」掲載機関から講師7機関8名を招き、ポリシー策定後の実効性確保等に向けた事例共有・意見交換会を開催した。会員館から77名の参加があった。

##### ② 研究データ管理・公開支援業務の設計と図書館職員による実践

- ・ 海外先進大学のRDM支援事例を元に日本国内の大学／図書館への適用・応用方策を探ることを目的とし、Research Data Alliance編「データ管理で研究者と協力するために: クックブック」掲載機関から選定したライデン大学、ワーゲンゲン大学、ノルウェー北極大学を対象とし、12月から翌2月にかけてオンラインインタビューを実施した。いずれも図書館がRDM支援に大きく関与しており、データキュレーションのみならずガイダンスやワークショップ、コンサルテーションに注力していることがわかった。加えて各研究科におけるRDM支援人材(「データスチュワード」)の

雇用事例についても聴取した。

- また、学術分野ごと国際的に使用されているメタデータの解説文書(Research Data Alliance Metadata Standards Catalog)について、会員館から特に理系分野を専攻した職員等 11 機関 16 名の協力を得て日本語化し、12 月 15 日国大図協ウェブサイトで公開した。併せて、作業員自身の学生時代の研究生活の振り返り会を 3 回にわたって開催し、多分野の研究データの取り扱いについて理解を深めた。
- RDM 支援業務の設計の参考とできるよう、12 月と 1 月に「GakuNin RDM に触れてみる会」を開催した。研究者が研究データを保管・共有するシステムの候補のひとつである同システムの操作デモと意見交換を行った。会員館からのべ 131 名(うち 7 割以上が同システムについて初見)の参加があり、質問・意見を開発元である NII に提供した。
- 2 月、研究データオープン化の代表的ルートのひとつである「データジャーナル」について、その特徴、構成等を把握するための勉強会を行った。

以上の取り組みについて、2 月、国際ラブデータ週間 2023 イベントの一環として、JPCOAR 主催セミナー「研究データ管理事始め」(第 17 回月刊 JPCOAR)の企画・実施に協力し、会員館外に対しても成果を普及した。

### (3) 電子資料小委員会の活動:

令和 4 年 9 月 13 日に第 1 回電子資料小委員会を開催し、ジャーナル問題検討部会「我が国の学術情報流通における課題への対応について(審議まとめ)」への対応を中心に、次の課題に取り組むことになった。

#### ① 転換契約に関する素材集づくり

下記の点等について検討・調査を進める。作業にあたっては、既に『電子ジャーナルに関する学内向け説明資料:素材集』を作成している JUSTICE との連携を視野に入れながら取り組む。

- ・大学執行部向けの説得材料やスライド等、各大学で作成している資料の共有。
- ・転換契約による費用抑制効果や、OA化による引用数等への影響に関する情報収集。
- ・素材の効果的な活用事例の紹介等。

#### ② 契約主体のグループ化に関する検討

転換契約におけるグループ的な枠組みに関する先行事例の収集・分析を行い、下記の課題整理等について検討する。

- ・グループ化の効果的な進め方。
- ・大学の規模や構成による考え方。

#### ③ 円安対応の情報収集と共有

情報収集・共有の進め方を検討する。

①と②に取り組むため、文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤整備室が実施した『我が国の学術情報流通における課題への対応について(審議まとめ)』に示された「早急に取り組むべき課題」への大学等研究機関の取組状況についての実態調査」及び「APC 調査スタートアンケート」の回答ファイルの提供を文部科学省研究振興局に依頼した。国立大学図書館協会の各会員館の承認を得た上で、提供を受ける予定。

また、丸善雄松堂の電子ブックプラットフォーム「Maruzen eBook Library」の電子ブ

ックダウンロード停止事案に関して、丸善雄松堂に対して意見するための要望書案を作成するとともに、「Maruzen eBook Library」利用規約の改訂を要望する補足文章案を作成した。

### 3. 委員構成

#### ◎資料委員会

委員長： 引原 隆士(京都大学図書館機構長)(令和4年9月30日まで)  
永盛 克也(京都大学図書館機構長)(令和4年10月1日から)

委員長代行：尾上 孝雄(大阪大学附属図書館長)

委員： 杉田 茂樹(京都大学附属図書館事務部長)  
富岡 達治(京都大学附属図書館学術支援課長)(令和5年3月31日まで)  
(京都大学附属図書館研究支援課長)(令和5年4月1日から)  
大山 努(大阪大学附属図書館事務部長)(令和5年3月31日まで)  
小陳 左和子(大阪大学附属図書館事務部長)(令和5年4月1日から)  
井上 恵美(大阪大学附属図書館学術情報整備課長)  
(令和5年3月31日まで)

萩 誠一(大阪大学附属図書館学術情報整備課長)(令和5年4月1日から)

事務局： 山中 節子(京都大学附属図書館図書館企画課長)  
(令和5年3月31日まで)

伊原 尚子(京都大学附属図書館総務課長)(令和5年4月1日から)  
櫻井 待子(京都大学附属図書館図書館企画課課長補佐)  
(令和5年3月31日まで)

飯田 智子(京都大学附属図書館総務課課長補佐)(令和5年4月1日から)

#### ○オープンサイエンス小委員会

委員長： 引原 隆士(京都大学図書館機構長)(令和4年9月30日まで)  
永盛 克也(京都大学図書館機構長)(令和4年10月1日から)

委員： 林 和宏(富山大学学術情報部図書館利用支援課課長補佐)  
(令和5年3月31日まで)  
(富山大学研究推進部学術コンテンツ課課長補佐)  
(令和5年4月1日から)

杉田 茂樹(京都大学附属図書館事務部長)

富岡 達治(京都大学附属図書館学術支援課長)(令和5年3月31日まで)  
(京都大学附属図書館研究支援課長)(令和5年4月1日から)

三木 保孝(大阪大学附属図書館学術情報整備課専門職員)  
(令和5年3月31日まで)

山本 侑子(大阪大学附属図書館学術情報整備課専門職員)  
(令和5年4月1日から)

井上 敏宏(大阪教育大学学術部学術情報課長)

鈴木 雅子(神戸大学附属図書館事務部長)

横井 有紀(奈良女子大学学術情報センター学術情報課長)  
(令和5年3月31日まで)

事務局： 山中 節子(京都大学附属図書館図書館企画課長)  
(令和5年3月31日まで)

伊原 尚子(京都大学附属図書館総務課長)(令和5年4月1日から)  
櫻井 待子(京都大学附属図書館図書館企画課課長補佐)  
(令和5年3月31日まで)  
飯田 智子(京都大学附属図書館総務課課長補佐)(令和5年4月1日から)

○オープンサイエンス小委員会タスクフォース

委員： 下城 陽介(東京大学附属図書館総務課企画渉外チーム主任)  
(令和5年3月31日まで)  
尾城 友視(東京大学附属図書館情報管理課選書受入担当)  
山本 紗矢香(東京工業大学研究推進部情報図書館課利用支援グループ  
スタッフ) (令和5年2月1日から)  
直江 千寿子(名古屋大学附属図書館情報サービス課課長補佐)  
端場 純子(名古屋大学附属図書館電子リソースグループ係長)  
大前 梓(京都大学附属図書館学術支援課研究支援掛長)  
(令和5年3月31日まで)  
(京都大学附属図書館研究支援課研究支援第二掛長)  
(令和5年4月1日から)  
安原 通代(京都大学附属図書館研究支援課研究支援第三掛長)  
(令和5年4月1日から)  
佐々木 健二(京都大学附属図書館学術支援課研究支援掛主任)  
(令和5年3月31日まで)  
(京都大学附属図書館研究支援課研究支援第三掛主任)  
(令和5年4月1日から)  
花崎 佳代子(神戸大学附属図書館情報管理課電子情報グループ専門職員)  
下村 昌也(神戸大学附属図書館情報管理課電子情報グループ専門職員)  
(令和5年2月1日から)  
佐藤 知生(神戸大学附属図書館情報サービス課自然科学系情報サービス係  
事務員) (令和5年3月31日まで)  
川村 拓郎(広島大学学術・社会連携室図書館部図書学術情報企画グループ  
主任)  
坂本 拓(国立民族学博物館情報課図書サービス係長)  
(令和5年3月31日まで)  
(京都大学吉田南総合図書館学術情報掛長)  
(令和5年4月1日から)

○電子資料小委員会

委員長： 尾上 孝雄(大阪大学附属図書館長)  
委員： 池尻 亮子(千葉大学附属図書館利用支援企画課専門職員)  
中山 昌也(東京大学附属図書館情報管理課情報管理チーム係長)  
(令和5年3月31日まで)  
(東京外国語大学附属図書館学術情報課長)  
(令和5年4月1日から)  
中村 恭子(三重大学情報教育・研究機構情報ライブラリーセンター  
図書館課長)

飯田 智子(京都大学附属図書館学術支援課課長補佐)  
(令和5年3月31日まで)

大西 賢人(京都大学附属図書館研究支援課研究支援第一掛長)  
(令和5年4月1日から)

大山 努(大阪大学附属図書館事務部長)(令和5年3月31日まで)

小陳 左和子(大阪大学附属図書館事務部長)(令和5年4月1日から)

井上 恵美(大阪大学附属図書館学術情報整備課長)  
(令和5年3月31日まで)

萩 誠一(大阪大学附属図書館学術情報整備課長)  
(令和5年4月1日から)

竹下 啓行(岡山大学附属図書館学術情報サービス課長)

棚橋 健治(広島大学図書館長)(令和5年3月31日まで)

川島 優子(広島大学図書館長)(令和5年4月1日から)

尾崎 文代(広島大学図書館図書学術情報企画グループリーダー)  
(令和5年3月31日まで)

坂本 祐一(広島大学図書館図書学術情報企画グループリーダー)  
(令和5年4月1日から)

堀 優子(九州大学附属図書館 e リソース課長)

事務局: 西森 哲也(大阪大学附属図書館学術情報整備課課長補佐)

吉田 弥生(大阪大学附属図書館学術情報整備課専門職員)